

ふくさき

議会だより

第146号

平成30年
5月2日

兵庫県福崎町議会



油すまし 辻川山公園



雪女 福ふく温泉



海ぼうず ミートショップ松井



河童 JR福崎駅前



鬼 ひのストア



猫また グルメミートにしおか



一反もめん マリーポアラース



一つ目小僧 レ・ボ・プロバンス



天狗 天狗寿司

3月定例会... 2
委員会報告... 10
一般質問... 13

はこれだ!!

最終年度として推進



福崎駅周辺整備事業

平成30年度予算 5億6485万円

工事の進捗に合わせて道路線が振り替えられていたが、6月1日から本計画の路線で供用開始する予定。

湯口踏切以北の道路拡幅工事は兵庫県の事業で取り組まれており、平成33年度の完了が目指されている。

事業効果を高めるため、駅前地区と辻川地区に観光交流センターを建築する予定。

福崎駅周辺整備事業の概要

- **総事業費** 31億3200万円
(観光交流センター、辻川界限、
町道福崎駅田原線等を含む)
- **計画工期**
平成26年度～平成30年度

平成30年度

注目事業



給食センター民間委託

6130万円

調理・配送業務を民間委託
委託先は株式会社 コーベフーズ



学校に空調設備導入へ

500万円

平成31年度の工事実施に向けて
設計を委託



駅前団地の建替

6億3600万円

5階建て 30戸（うち集会所1戸）



コミプラ統合

8500万円

長目地区のコミュニティプラントを
公共下水道へ統合



雨水幹線整備

1億6580万円

川すそ雨水幹線整備工事 ほか

平成30年度

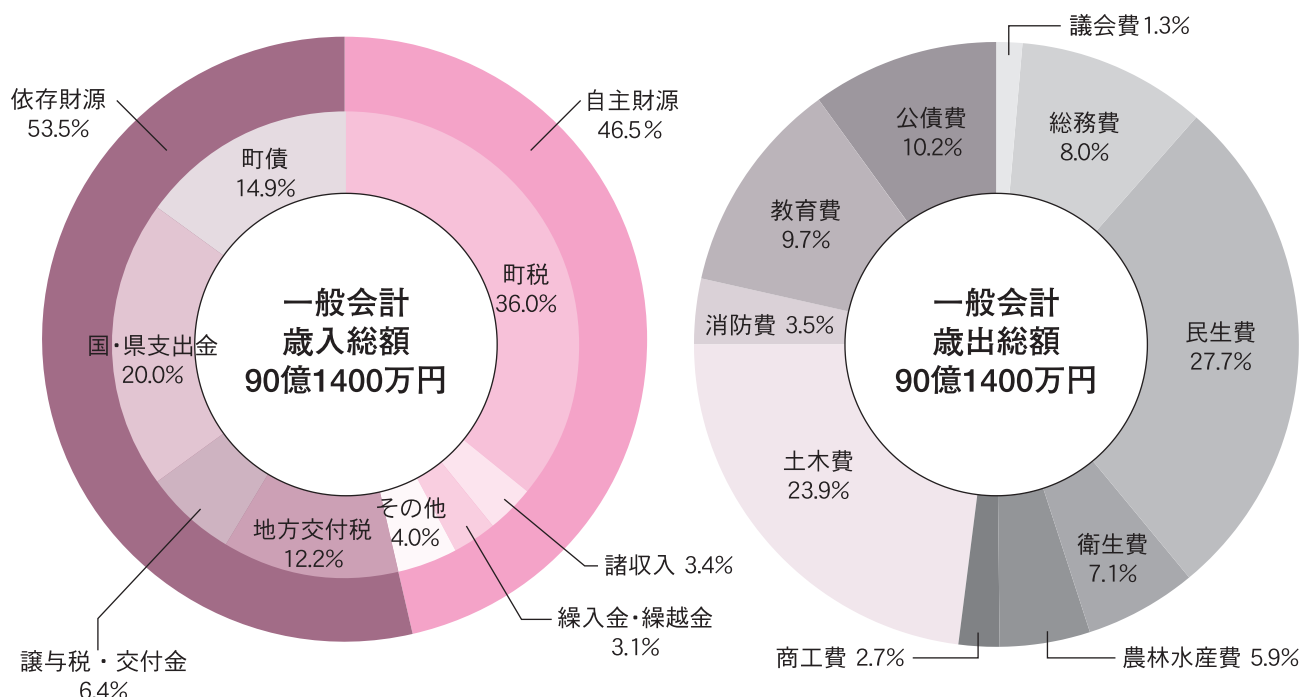
予算総額157億9700万円

一般会計当初予算 90億1400万円

3月定例会は3月2日に招集され、26日までの25日間の会期で開きました。町長から提出された平成29年度補正予算や平成30年度予算などの議案について慎重に審議を行い、

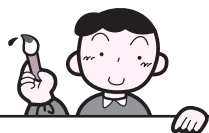
その結果、すべて原案どおり可決しました。一般質問は3月20日、3月23日に行われ、6議員が町政全般にわたり質問しました。

一般会計



平成30年度 各会計予算総括表

会 計 名		予 算 額	前年度当初との比較	
			増 減 額	増減率(%)
一 般 会 計		90億1400万円	3億1400万円	3.6
特別会計	国民健康保険事業	19億7830万円	△3億6370万円	△15.5
	後期高齢者医療事業	2億5360万円	820万円	3.3
	介護保険事業	16億4350万円	△5610万円	△3.3
水 道 事 業		9億110万円	2億8520万円	46.3
工 業 用 水 道 事 業		5380万円	△240万円	△4.3
下 水 道 事 業		19億5270万円	1億6960万円	9.5
合 計		157億9700万円	3億5480万円	2.3



巡回バス改編施策の概要（平成30年10月～）

- ・まちなか便の運行時間が1時間繰り上がります。
- ・神戸医療福祉大学と連携し、大学のバスを活用することにより、22時頃までの利用が可能となります。
- ・川西便の運行日が毎日運行に変更となります。
- ・川東便の運行日が週4日運行に変更となります。
- ・市川町と連携することにより、市川町役場までの利用が可能となり、神崎総合病院までのアクセス性が向上します。
(週2日運行)
- ・川東地区（八千種・大貫・東田原(加治谷、亀坪)）で買い物バスの運行が始まります。
(週2日運行)

巡回バス 利便性向上へ

巡回バスをより利用しやすく役立つものとするため、平成30年10月から大幅な改編を予定しています。

変更案の内容は左記のとおりです。

学校に 空調設備導入へ

議員

学校施設空調設備設計委託料が計上されているが、対象範囲や規模は。

学校教育課長

各小学校1・2年生と各中学校3年生の教室が対象です。今回は設計を委託し、工事は平成31年度に実施する予定です。

議員

将来的に全学年整備を目指すなら、その都度設計するのではなく、必要な準備はしておいた方がいいのでは。

学校教育課長

当然、配慮しておかなければならないと考えます。しかし、各校舎とも経年劣化がみられますので、長寿命化改良事業で全体的に実施すべきかどうかを含めて検討していきます。

英語教育を充実

議員

英語指導助手(ALT)の活動範囲に変更はあるのか。

教育長

指導要領の改訂により、平成32年度から、小学校3・4年生から英語教育が始まることとなりますが、福岡市では2年先駆けて先行実施し、平成30年度から小学校3・4年生の英語教育を実施し、ALTに携わっていただきます。福岡市の英語教育のレベルの高さを示していきたいと考えています。

不登校・ 学習支援対策

議員

不登校・学習支援対策の内容は。

学校教育課長

不登校相談員(のぞみ学級指導員)は学校に行きた

くても行けない子どもが学校以外の所で勉強したいときに指導にあたる指導員です。

不登校児童・生徒指導専門員は、月に1回、親の会を開催していますが、そこにお招きしている講師の先生です。

スクールカウンセラーは、臨床心理士の資格を持っており、生徒や親、教員の悩みを聞いて対応にあたっています。

特別支援学級等介助員は、席にずっと座っていろいろなような児童の身の介助にあたっています。

学習支援員は、教員免許を持った者が教員と一緒に授業に入り、児童の学習の支援・指導にあたっています。

スクールソーシャルワーカーは、児童を中心にして、保護者、地域などの環境を把握して必要な相談機能につなぐことを主な仕事にしています。平成30年度は2名に拡充します。

介護保険条例の一部を改正する条例

今回の改正は、平成30年度から平成32年度までの65歳以上の第1号被保険者の保険料に関する改正と、第2号被保険者（40歳以上65歳未満）の配偶者やその世帯員に対して、第1号被保険者と同様に文書の提出や提示等に従わない場合に過料を科すことができるようにする改正です。

この条例は平成30年4月1日から施行します。

議員

第5段階（基準額）以上の保険料の伸び率が高いように思うが。

健康福祉課長

給付費が伸び続けていることが一番の原因です。以前と同じように10段階に設定し、各所得金額に応じた負担をお願いしています。

議員

介護や国保で負担が増している。軽減についてはどうか。

町長

委員会等でも報告をしています

教育長 高寄十郎氏の任命に同意

任期は平成30年4月1日から3年間

平成29年度福崎町一般会計補正予算

一般会計補正予算（第6号）は、歳入歳出それぞれ4億6600万円を減額し、補正後の予算総額を84億5740万円としました。審議の結果、全員賛成により原案のとおり可決しました。

増額の主なものは、認定こども園費で保育士の処遇改善等加算の増額、町道大貫山田線の冠水対策として、水路整備事業等を行うことなどによる増額です。減額の主なものは、福崎駅周辺整備や、その他の道路橋梁関係の事業費確定による減額、下水道事業への繰り出しの減額等です。

また、平成29年度中に完了しない事業は平成30年度に繰り越します。

繰越明許費

事業名	金額
福崎駅周辺整備事業	6億160万円
町道大貫山田線冠水対策事業	6000万円
農地農業用施設災害復旧事業	3370万円
西大貫地区治山事業	760万円
公共土木施設災害復旧事業	250万円

豆知識

繰越明許費とは…

経費の性質や予算成立後のなんらかの理由で、その年度内に支出を終わらない見込があるものについて、議会の議決を得て翌年度に限り繰り越して使用できるようにする予算。

平成30年度 福崎町国民健康保険事業特別会計予算

討論

反対討論



小林 博

国民健康保険は国民皆保険の基本であり法でも社会保障としている。高齢化や無職、非正規雇用など低所得層が多い。病気になる率も高く、社会保障としての役割がますます大きくなっている。都道府県営化は助け合い事業にするものです。福崎町は、健康作りの努力を重ね、1人当たり医療費は県下でも低く、結果として保険税も低い水準となっている。増税は納得できません。国は初年度からの増税にならぬようにとの表明をし、自治体の自主的な施策を認めました。本予算では1世帯あたり、約15000円の増税となっています。福崎町の場合、年間所得100万円以下が約70%です。負担能力は限界に来ている。増税中止を求め反対討論とします。

賛成討論



前川 裕量

国民健康保険事業は、国民皆保険体制の基礎となる社会保障制度であり、高齢者や低所得者層を多く抱えています。この状況で、制度改正による急激な負担増は避けなければなりません。

予算では、基金を活用し負担緩和を図る、という方向が示されています。

一般会計繰入増の提案もありましたが、町全体で使える財源が決まっているなかで税金を投入することは、他の事業への影響や国保に加入されていない方との公平性の観点から、慎重に議論すべきと考えます。

税率設定の際は、負担増について十分配慮・説明し、慎重に取り組んでいただくことに期待をいたしまして、賛成討論とします。

●定例会の出席状況および賛否の分かれた議案●

議席番号・議員名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
会議名		松岡秀人	柴田幹夫	三輪一朝	北山孝彦	前川裕量	河嶋重一郎	木村いづみ	山口純	牛尾雅一	富田昭市	小林博	石野光市	城谷英之	高井國年
出席の状況	本会議1日目(3月2日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	本会議2日目(3月6日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予算審査特別委員会1日目(3月7日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予算審査特別委員会2日目(3月8日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予算審査特別委員会3日目(3月12日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総務文教常任委員会(3月13日)	○	—	○	—	—	—	○	—	○	—	—	○	○	○
	民生まちづくり常任委員会(3月14日)	—	○	—	○	○	○	—	○	—	○	○	—	—	○
	福崎駅周辺整備対策特別委員会(3月15日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	本会議3日目(3月20日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	本会議4日目(3月23日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	本会議5日目(3月26日)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
採決の結果	平成30年度福崎町国民健康保険事業特別会計予算について	賛成	10	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—
		反対	3												—
	「2025日本万国博覧会」の大阪・関西誘致に対する決議	賛成	11	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—
		反対	2												—

注1 「○」は出席です。

注2 高井議長は賛否同数の採決以外は採決に加わりません。また、総務文教常任委員会以外の委員会にはオブザーバーとして出席します。

注3 委員会の出欠については所属する委員のみ表示しており、「—」の委員は出席の必要はありません。

「2025日本万国博覧会」の大阪・関西誘致に対する決議（概要）

国際博覧会の開催は産業振興や観光文化交流等を促進し、新たな観光や産業のイノベーションが期待できるなど、大きな経済効果をもたらすとともに、全世界に向けて大阪・関西の存在感を示す絶好の機会にもなり、地域の振興や住民生活の向上にも寄

与することが期待できる。よって、大阪・関西における国際博覧会の開催を支持するとともに、誘致実現に向けた国内機運の醸成など、必要な取り組みを関係機関と積極的に推進するものとする。

反対討論



石野光市

日本共産党は、世界の課題や解決方法を提言し、交流しようとする万博の理念そのものに反対してはおりません。

反対理由の第1は、この万博構想が大阪の人工島「夢洲」でカジノを万博と

セットで誘致しようとしていることです。万博終了後もカジノを含む統合型リゾート地として存続させるとしています。カジノによるギャンブル依存症の拡大などで、経済効果よりも経済損失がはるかに大きいとの試算もあります。

第2は、会場予定地が大阪湾の埋立地で、地震が起きれば液状化し、津波に飲み込まれる恐れがあると専門家が警鐘をならしていることです。

第3は、費用と財源問題です。会場建設費、運営費、必要な用地、鉄道等の整備事業費や入場者数の積算根拠が明確でないことです。

賛成討論



山口純

万国博覧会は、人類が抱える地球規模の課題に対して世界からの知恵を集め、世界と日本の平和的発展に大きく寄与することが期待されています。

2025大阪万博は、「いのち輝く未来社会の

デザイン」をテーマとし、日本・関西・大阪で開催する意義として、未来社会で鍵となる科学・技術力、自然災害を乗り越え、自然と共生した持続可能な社会を提示していることが挙げられています。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年ワールドマスターズゲームズ関西などの国際的な大会の理念と成果が、2025日本万国博覧会に引き継がれ、関西・日本の更なる発展につながることをおおいに期待されています。

よって、「2025日本万国博覧会」の大阪・関西誘致に対する決議について、賛成すべきと考えます。

●議会運営委員会●

議員名 開催日	高井國年	前川裕量	富田昭市	小林博	牛尾雅一	山口純	河嶋重一郎
2月8日	○	○	○	○	○	○	○
2月23日	○	○	○	○	○	○	○
4月6日	○	○	○	○	○	○	○

注1 「○」は出席、「欠」は欠席です。

注2 高井議長は、オブザーバーとして出席します。

●議会広報常任委員会●

議員名 開催日	高井國年	三輪一朝	松岡秀人	木村いつみ	北山孝彦	柴田幹夫	石野光市
3月26日	—	○	○	○	○	○	○
4月3日	○	○	○	欠	○	○	○
4月16日	○	○	○	○	○	○	○
4月19日	○	○	○	○	○	○	○
4月24日	—	—	—	—	—	○	○

閉会中の
委員会出席状況

第477回福崎町議会定例会提出議案と審議結果

(町長提案分)

議案等番号	件 名	審議結果
報告第1号	議会の委任による専決処分の報告（損害賠償の額を定め和解すること）	「報告」は質疑を行います が、討論・採決はありません
報告第2号	議会の委任による専決処分の報告（損害賠償の額を定め和解すること）	
報告第3号	議会の委任による専決処分の報告（損害賠償の額を定め和解すること）	
議案第1号	専決処分の承認を求めること（平成29年度 福崎町一般会計補正予算(第5号)）	賛成全員 承認
議案第2号	市川町外三ヶ市町共有財産事務組合議員の承認	賛成全員 同意
議案第3号	福崎町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	賛成全員 可決
議案第4号	福崎町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	
議案第5号	福崎町介護保険条例の一部を改正する条例	
議案第6号	第7期福崎町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の策定	
議案第7号	福崎町子ども・子育て支援事業計画の見直し	
議案第8号	平成29年度 福崎町一般会計補正予算（第6号）	
議案第9号	平成29年度 福崎町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	
議案第10号	平成29年度 福崎町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）	
議案第11号	平成29年度 福崎町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	
議案第12号	平成29年度 福崎町水道事業会計補正予算（第3号）	
議案第13号	平成29年度 福崎町下水道事業会計補正予算（第3号）	
議案第14号	平成30年度 福崎町一般会計予算	賛成多数 可決
議案第15号	平成30年度 福崎町国民健康保険事業特別会計予算	
議案第16号	平成30年度 福崎町後期高齢者医療事業特別会計予算	賛成全員 可決
議案第17号	平成30年度 福崎町介護保険事業特別会計予算	
議案第18号	平成30年度 福崎町水道事業会計予算	
議案第19号	平成30年度 福崎町工業用水道事業会計予算	
議案第20号	平成30年度 福崎町下水道事業会計予算	
議案第21号	福崎町道路線の廃止及び認定	賛成全員 同意
議案第22号	教育長の任命	

(委員会提案分)

決議第1号	「2025日本万国博覧会」の大阪・関西誘致に対する決議	賛成多数 可決
-------	-----------------------------	---------

里帰り出産に伴う一時預かり事業 認定こども園で開始

一時預かり事業は、保護者が勤務や傷病、育児に伴う心理的・肉体的負担により一時的に保育を必要とされる場合などに利用できます。

平成30年4月1日から、町外に在住している乳児または幼児で、保護者の里帰り出産により町内で生活している場合も利用できるようになります。

中学校にストーブを設置

P T Aからの要望により、福崎西中に6台、福崎東中に9台のストーブが設置されました。

事故が起こらないように各学校で使用規定を作り、全生徒に指導、徹底させるとの報告がありました。

三木家住宅で「わが家の雛人形展」

女の子の健やかな成長を願う雛人形展が開催されました。町民の皆様から出品いただき三木家を華やかにしました。のべ1574人の方がご来場されました。



スポーツ公園テニスコート完成

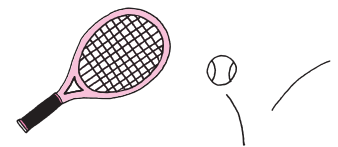
フェンスの補修工事を追加し、人工芝改設工事が完成しました。2月1日から供用を開始しました。



テニスコートA・B



テニスコートC・D



● 閉会中の委員会出席状況 ●

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
三輪	松岡	高井	城谷	牛尾	石野	木村
一朝	秀人	國年	英之	雅一	光市	いづみ

開催日 \ 議員名	三輪一朝	松岡秀人	高井國年	城谷英之	牛尾雅一	石野光市	木村いづみ
1月23日	○	○	○	○	○	○	○
2月20日	○	○	○	○	○	○	○

注 「○」は出席です。

第7期 福崎町ゴールドサルビアプラン を策定

基本理念

支え合い いつまでも
安心して暮らせるまち
ふくさき

第7期制度改正の主な内容

- (1) 地域包括ケアシステムの深化・推進
 - ・自立支援・重度化防止
 - ・医療・介護の連携の推進等
 - ・地域共生社会の実現に向けた取組の推進
- (2) 持続可能性の確保
 - ・利用者負担の見直し
 - ・高額介護サービスの見直し
 - ・費用負担の見直し

福崎妖怪ベンチウォーキングマップ



福崎町内の店舗等に妖怪ベンチが設置されました。なお、ウォーキングマップは職員が作ったものであるとのことです。観光客の増加につながることを期待しています。

● 閉会中の委員会出席状況 ●

委 委 委 委 委 副 委
員 員 員 員 員 員 長
富 柴 小 北 河 山 前
田 田 林 山 嶋 口 川
昭 幹 博 孝 一 純 裕
市 夫 博 彦 郎 量

開 催 日	議 員 名							
	高井國年	富田昭市	柴田幹夫	小林博	北山孝彦	河嶋重一郎	山口純	前川裕量
1月24日	○	○	○	○	○	○	○	○
2月21日	○	○	○	○	○	○	○	○

注1 「○」は出席です。

注2 高井議長は、オブザーバーとして出席します。

駅前幹線道路 供用開始に向けて工事加速

福崎駅前の工事の進捗に伴い、平成30年3月から仮道路での通行となっていますが、平成30年6月1日に当初の計画道路が供用開始される予定であるとの報告を受けました。

工事が進むにつれて、徐々に新しい駅前の姿が現れています。また、それに伴い多くの意見や要望も出てきています。委員会としても状況把握に努め、よりよい駅前となるよう尽力していきます。



みなと銀行新店舗開業

駅前地区にみなと銀行の新店舗がオープンしました。また、すでに三福や北山精肉店、フォトショップカワモト、愛ケア・サービスなども新店舗が開業しています。

今後とも駅前地区にさらなるにぎわいをもたらしてくれることを期待します。



みなと銀行

行政視察報告

福崎駅周辺整備の参考とするため、播磨町（JR土山駅）を行政視察しました。先進地を参考にしつつ、駅前のにぎわい作りや利便性などの課題の解決に向けて努力していきます。



視察風景（JR土山駅前の商業施設）

ここが聞きたい

一般質問

6人の議員が町政を問う！

「一般質問」は、公の場である議会で、行政全般について町長の考え方や町政をただし、また、議員自らも政策提言を行い、政治姿勢を明らかにする大切な場です。質問をする議員は、町長に事前に質問内容を通告し、議員の質問（持ち時間）は45分間となっています。質問した議員が原稿を起こし、「議会だより」に掲載しています。

第477回定例会 一般質問

三輪一朝 ①福崎町第5次総合計画について ②集落営農組織の経営力強化について ③本町の公園について	富田昭市 ①仮想通貨について ②学校での心肺蘇生教育の普及・促進について ③所有者不明の土地について ④就学援助の取組について ⑤バリアフリー化について
河嶋重一郎 ①獣害対策について ②子ども議会とその後について	石野光市 ①学童保育園について ②生活保護見直しによる影響と就学援助について ③役場駐車場について ④ジャンボタニシ(スクミリンゴガイ)について ⑤三木家の活用について
牛尾雅一 ①定住促進について ②昼間人口(交流人口)増の施策について ③観光振興について ④教育環境について	小林 博 ①福崎駅前周辺整備と今後の街づくりについて ②国保問題について ③農業問題について ④交通安全対策について ⑤教育施設整備について

後期第5次総合計画を磨き進化させるのか

調整区域の規制の緩和や、新たな工業団地を取り組みたい



三輪 一朝

はないかと考えます。

問 後期基本計画では町の取り組みに磨き進化させる方向性は加わるのか。

めていきたい。国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険に住民意見を盛り込みたい。

町長 新たな工業団地が求められています。調整区域の規制の緩和を求

問 本町の総合計画で平成31年度から5年間の後期基本計画の進め方は近年、特に住民との協働による行政運営の重要性がうたわれていることから、行政だけでなく、地域の住民企業などに実現に向けた計画の遂行に一定の役割と責任を求める方法とするのか。

町長

町民の参画と協働や、町民主体の自律(立)のまちづくりを進めていきますが、計画の遂行に住民の一定の役割と責任を求める方法とはなかなかないのです。

総合計画とは

町全体の総合的かつ効率的な行財政の運営を図るための基本となるもので、まちの将来像と計画実現に向けた施策および施策の進め方を示すもの。

計画の構成と期間(抜粋)

(年度)

H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
			基本構想 (10年間)						
前期基本計画 (5年間)									
				見直し	後期基本計画 (5年間)				

集落営農組織の経営力強化

問 本町域にある集落営農組織の多くは、農業経営力が発展途上にあって、収入の5割以上を占める補助金頼みの収益構造となっている。本年度から10a当たり7500円の直接支払交付金が廃止されることから農業経営力強化が急務である。よって利益最大化をはじめとした経営手法の高

農林振興課長

町は学習、研修の必要性を認識し、経営の効率化を図る研修や組織間の情報交換の場を提供しています。

また県などが主催する研修も都度、周知す

公園

問 本町の都市公園条例は町民一人当たりの整備基準面積を定めているが現状はどうか？

県内他の自治体の状況はどうか。

まちづくり課長

スポーツ公園、ふれあい公園などを含めると条例では1人当たり10㎡の標準に対し7.3㎡

るなどしています。

問 営農組織間の合併について研究、推進する必要性、時期はどうか。

農林振興課長

すでに桜、長野、神谷の3集落間で広域連携を進めています。

拡充は緑の基本計画に基づくとあるが、整備状況はどうか。

まちづくり課長

平成8年に緑の基本計画が制定され、1人当たり17㎡が目標ですが、財政上厳しいこともあり進展していません。

問 公園、緑地の整備



河嶋重一郎

子ども議会とその後について

春日ふれあい会館を
特産もち麦の加工所として整備しました

問 子ども議会での質問に対するその後はどうなっているのか。

副町長

その後の状況で変化のあったものの中で、主だったものについて報告します。

1点目はもち麦についてです。もち麦フォーラムを拡充し、連続講座を例年1回のところを平成29年度は5回開催しました。

2点目は学校施設のクーラーの要望です。平成30年度予算で小学校1、2年生と中学校3年生の教室を対象に学校施設空調設備設計委託料を提案しています。

3点目は交通安全（信号機の設置、歩道の整備）です。福岡町

通学路安全推進会議で検討を行っています。また必要に応じて現地調査を実施し、調査等により明らかにした対策

が必要な所については対応しています。信号機の設置は区長会等からの要望も含め町内

11カ所を福岡警察署に要望しています。歩道については県道三木穴栗線、東大貫地区で事業が進んでいます。そこが完了しますと幅道路肩整備で、西谷地区が計画には上がっています。

4点目は、福岡駅周辺の商業施設整備です。平成29年6月議会では財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例を定め、商業施設用地を減額譲渡や減額貸付ができるようにして食品スーパー等の誘致のための優遇策をとっています。

5点目は、災害対策についてです。県営の危険ため池対応として、（移）上池が工事中で、板坂の三谷池は詳細設

計を行います。また第1体育館東に防災備蓄倉庫（平成29年3月）を設置しました。

6点目は、観光振興についてです。辻川界限整備の中で平成30年3月1日に開業したまちづくり拠点タケムラを核として神戸新聞、一般社団法人ノオト、福岡町が連携して駅前から辻川界限までの導線を見据えながら町全体の観光振興に取り組んでいます。

獣害対策

問 イノシシが人里近くへ出没している。人身事故防止と住民の安全安心のため、今後の対応対策は。

農林振興課長

集落の放送により注意喚起を促すとともに、猟友会への捕獲依頼を行いその他出没が懸念される時期を見計らって鳥獣対策を広報に掲載し対応対策を行います。

問 最近、アナグマ、ハクビシンが増えていと思うが、アライグマと同じ有害捕獲許可が出せないか。

農林振興課長

アライグマと同様には対応できませんが、被害と生息の確認資料があれば許可ができるものであると考えます。



アナグマ



ハクビシン

工業団地拡張で雇用確保・定住人口増を

要望が強いため民間開発の誘導を図っていきます



牛尾 雅一

問 全国的に人口減少が進む中、福岡市の人口減を食い止めるには若者世代の定住が必要である。雇用確保のため、企業からも要望がある工業団地の拡張を推進すべきと考えるがどうか。

まちづくり課長

西部工業団地は企業の工場建て替えや拡張の要望が強いため、国の官民連携基盤整備推進事業を活用し、各種の調査を行い民間開発の誘導を図ります。東部工業団地も拡大の要望があり、農振除外の手続きから進めます。



東部工業団地



西部工業団地

拡張が待たれる東部・西部工業団地

問 福岡市は先人の努力で現在の工業団地が存在し、町の発展に大きく貢献していただいている。私たちの時代で次の工業団地政策を考え、魅力ある工業団地作りに常に前向きに取り組むべきと考えるがどうか。

町長

町内において交通渋滞が発生しており、まずは渋滞の解消を図ってから、民間の力とノウハウを活用し、また町が企業会計を設けて開発するなど、いろいろな角度から考えていきます。

県道三木穴栗線の渋滞緩和・北野区廣岡の開発は

問 町の活性化には昼間人口（交流人口）を増えることが大事で、交通アクセスの改善・

向上が重要。従来の都市計画道路である大門福岡線の代替道路の整備が急務で、それにより辻川界隈へのアクセス向上、渋滞の解消、市街化区域の指定から40年以上経つ北野区廣

岡の開発につながることを考えるがどうか。

町長

大門福岡線の路線の一部を計画に上げ整備を行います。後は民間と地元区で開発に向けて取り組んで頂きたいと考えています。



開発が待たれる北野区廣岡

道の駅は

問 福岡市の道の駅構想の進捗状況は。

地域振興課長

今回、当町において二つの観光交流センターを整備することから、その一つに道の駅としての機能を持たせ活用を図っていきます。

問 交通量の多い県道

三木穴栗線沿いに道の駅を作ることが町の活性化のために必要と考えるが、今回建設される交流センターの完成時期は。

地域振興課長

平成30年度の早い時期での工事着手を予定しており、早期の供用開始を目指しています。

部活動について

問 中学校での部活動の指導が先生の多忙化の一因でもあると考える。地域の外部人材を顧問に登用する制度の導入は。

教育長

学校から要望があれば考えていきたい。



富田 昭市

所有者不明土地の解明を

調査を続行します



地籍調査が進められた山林

問 調査で判明した所有者不明の土地は山林なのか、田畑なのか、それとも住宅地なのか、不明土地の発生の件数と予防の整備は進められているのか。

農林振興課長

平成20年度から山林の地籍調査におきまして所有者不明の土地は22件あり、関係機関に

仮想通貨

問 法定通貨とは異なり国家や中央銀行による裏付けはなく、交換

業者が不正なハッキング攻撃を受けると預けている財産が戻ってこない可能性があるが、

行政の認識を伺う。

地域振興課長

仮想通貨の安全管理に對しましては、金融庁、消費者庁、それに警察庁で安全のための対策を定めています。

問 仮想通貨は決して通貨ではなく、日本銀行では仮想通貨と表現している。

なぜ、このように仮想通貨が急増したのか当局の考えを問う。

地域振興課長

仮想通貨と法定通貨を交換する交換業が登場したことで利用が容易になったことや投機目的で保有する人が増えたことが原因だと考えます。

心肺蘇生教育

問 突然の心肺停止から命を救うためには心

肺蘇生AEDの知識と技能を体系的に普及する必要がある、学校での心肺蘇生教育はその柱となるものであるが、当局の実態を伺う。

学校教育課長

現在、小学校では資料による授業をしています。中学校では指導要領に基づき訓練を含めた心肺蘇生教育を行っています。

問 AEDに関する教育の普及を進めることは大切である。現在、

小・中学校におけるAEDの設置状況、さらに教職員への講習実施状況などについて伺う。

学校教育課長

全ての小・中学校にはAEDを設置しております。また、社会体育用として体育館にも設置しています。

就学援助

問 小・中学生の新入学時に経済的に就学が困難な世帯に向けた就学援助費については、これまで入学してから支給されていたものを今後、入学前に支給するようにできないか。

学校教育課長

これまでは入学後に支給していましたが、平成31年度からは入学前に支給できるようにします。

バリアフリー

問 急速に少子高齢化が進む中、新バリアフリー法の施行から10年が経過した。本町の基本構想の作成は。

まちづくり課長

本町では現在のところ計画はしていません。

10月からの生活保護見直しによる影響は

できるだけ影響が及ばないよう慎重に対応します



石野光市

問 平成30年10月から生活保護見直しが実施され、低所得者向けの47事業でその影響を受けると発表している。当町の各種施策、就学援助をはじめ、国保税や介護保険料など非課税世帯の範囲が狭められるのではないかと考えるがどうか。

限度額は、平成31年度以降、国で税制改正が検討されています。各自自治体の就学援助など単独事業については、国が取り組んでいる趣旨を理解し、取り組むこととされています。題と考える。現況の所得水準の人が課税等での軽減や支給対象から外れていかないように強く願う。町としての働きかけは。

町長 さまざまな機会をとらえてそうした趣旨の要望は伝えていきます。

問 生活を守るということは政治の最重要課

ことは政治の最重要課

健康福祉課長

国の制度では各制度の目的や実態等を十分考慮しながら、できる限りその影響が及ばないよう対応するとされています。

個人住民税の非課税



春休み中の東部学童保育園

学童保育園の年始の開設

問 1月4日、5日の開設の要望を聞くがどうか。

学校教育課長

平成30年度に5年に1回のアンケート調査を行うので、その結果を踏まえて検討していきます。

学童保育園利用増の対応は

問 利用者数の増加への対応は。

学校教育課長

平成30年度の対応策として西部学童保育園は隣接の福岡県民交流広場、東部は隣接の田原県民交流広場の活用を考えています。

役場駐車場透水性舗装を

問 役場駐車場の区画不足のため、たびたび区画外の駐車も見受けられる。透水性舗装の実施とともに区画増はできないか。

総務課長

多数の住民の方が出席される会議は役場以外の施設を利用するなどの対応策も検討します。駐車区画の増設や透水性舗装は状況を見極めていきます。

ジャンボタニシの対策を

問 ジャンボタニシが姫路市北部の水田等で見られると聞く。田植え時にこの貝の被害が大きいと大不作も起きる。繁殖、拡散の対策

として啓発や情報提供を。

農林振興課長

移動の可能性のある地域の農区長、営農組合等を対象に注意喚起と対策を示したパンフレット等を配布し、要請があれば説明会で説明します。

三木家の企画充実を

問 1960年（昭和30年代半ば）頃を境に町内で生活様式が大きく変わり、養蚕の衰退、農業の機械化が進み、正月の餅花も見られなくなった。当時の家屋のようすなどの紹介企画は。

社会教育課長

正月飾りの展示も企画の参考にします。



小林 博

にぎわいと利用しやすい福岡駅を

利便施設誘致やにぎわい創出に取り組んでいます

問 福岡駅周辺整備も最終年度を迎える。こ

こまで進んできたことに
関係する方々の協力
と努力に感謝と敬意を
表します。形が見え、
期待も高まっている。

身近に買物ができ、利
用しやすい福岡駅であ
ってほしいとの声が広
がっている。にぎわい
の創出等の取り組みは
どう進んでいるのか。

技監

利便性施設は用地の
優遇策を講じています。
商工会と協力し誘致に
努めます。駅は現路線
橋にエレベーターが設
置されます。

地域振興課長

活性化とにぎわいの
創出につなげるようカ
ップのモニメント設
置、月2回程度の軽トラ
市・〇〇マルシェ等の
実施を考えています。

まちづくり課長

国道312号から駅
へのアクセスを図る
ため福岡駅田原線の都
市計画道路法線の見直
しをします。

国保問題

問 国保は低所得層が
増えている。福岡町は
1人当たり医療費も低
い。国も県営化で引上
げにならぬようにとし
ている。予定税率は予
算以上の値上げ幅とも
感じる。

健康福祉課長

県単位の計算となり
理解を得たいと考えて
います。

問 国保法では社会保
障制度と規定している。
引上げ撤回を求める。

町長

税の5月算定で正確

に検討していきます。

農業問題

問 減反政策の終了、
TPP問題等の中でほ
場整備も取り組まれて
いる。これからの農業
や農地、関連施設の維
持等に不安の声が聞か
れる。農業の持つ多面
的な役割からも第5次
総合計画でも位置づけ
ている。福岡町の農業
施策について柱と目標
について尋ねる。

農林振興課長

農地集積や耕作放棄
地の減、ほ場整備率等
の目標数値があります。
人・農地プランの推進
で農業を基礎に地域の
将来不安を解消したい。
担い手に農地の集約を
図り経営安定対策の交
付金を得るとともにス
ケールメリットを活か
した効率的な農業経営
を目指します。



スポーツ公園の活用を

農業施設は保全管理
構想を作成し国県の補
助金で整備を進める他
町単独土地改良事業の
活用を図ります。

問 鳥獣被害対策は国
制度も活用し、猟友会
等、民間の力も借りて
の取組みを。

農林振興課長

地域ぐるみの取組み
を推進するとともに猟
友会の意向も尊重して
進めます。

交通安全対策

問 曇りにくいカーブ
ミラーの計画的設置、

住民生活課長

通学道路の整備と重点
施策とすることを求め
る。

教育施設整備

問 スポーツ公園・町
民グラウンドの環境整備
やグラウンドの整備が必
要ではないか。

社会教育課長

スポーツ公園は大雨
の後、手入れをしまし
た。第1グラウンド改修
を最優先と考えていま
す。

福崎町老人大学 開講式開催



4月5日、文化センターで平成30年度「福崎町老人大学開講式」が行われました。

老人大学では、月に1回、どなたでもご参加いただける一般教養講座も開催されています。興味がある方はぜひご参加ください。

第12回 民俗辻広場まつり開催



第12回民俗辻広場まつりが4月7日に開催されました。

あいにくの天気にも関わらず、出演者達は日頃の練習の成果を発揮し、素晴らしいステージとなりました。

表紙の写真

福崎町内9カ所に設置されている妖怪ベンチです。福崎町の観光振興に寄与してくれることを期待しています。



福崎妖怪ベンチ
ウォーキングMAP

次の定例会は6月8日開会予定

議会では、皆様の暮らしに関わる問題等を議論しています。
議会の傍聴をしてみませんか。

編集後記

新しい年度を迎えて1か月が過ぎ、新生活にも少しずつ慣れてこられた頃と存じます。議会議員も改選から1年が過ぎ、福崎町議会基本条例の趣旨に基づいた調和のとれたまちづくりに行政と共に取り組んでいます。

福崎町議会では皆様からのご意見、ご要望をお待ちしております。

議員活動において、社会規範に反することなく活動することは、最低限のルールです。しかしながら、近年、議員に対する要望・意見等多様化し、SNSなどの情報発信ツールへの対応も必要になっています。

このため、福崎町議会では、要望・意見等の内容が法的に問題がないか法律に関して専門的に対応することとしました。

今後も、公平・公正な議員活動に取り組んで参りますので宜しく願います。

高井 國年

◆議会広報常任委員会

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
三輪 一	松岡 秀	木村 いづみ	北山 孝彦	柴田 幹夫	石野 光市

議会だよりの表紙写真を
皆様から募集します。

応募、お問い合わせは下記まで

福崎町議会へのお問い合わせ、ご意見ご要望は下記へ

〒679-2280 兵庫県神崎郡福崎町南田原3116-1

TEL (0790) 22-0560 FAX (0790) 22-2342

ホームページ：<http://www.gikai.town.fukusaki.hyogo.jp>

ふくさき議会だよりの第146号
平成30年5月2日 発行

発行／兵庫県福崎町議会
編集／議会広報常任委員会
印刷／中井総合印刷株式会社

福崎町議会 で検索できます。

この広報誌は再生紙を使っています。